

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
人権と法	NLA11_005	必修	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
桑原 修	(健) B303	o.kuwa	火曜日 11:00～13:00		
授業の目的・概要	本講義では、大学生に関わる法的トラブルとその対処法について学ぶ。ここでは日本国憲法を中心に様々な課題に触れ、「人権とは何か」「法はどのように守るのか」について理解することを目的とする。				
授業形式・方法	☒ 対面授業 ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 遠隔授業(自主学習) ☒ 講義 ☐ 演習 ☐ 実習 ☐ 実技 ☐ PBL ☐ 反転授業 ☐ ディスカッション・イベント ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ その他()				
学習上の助言	基本的な法的知識を見に付けることで日々の生活に取り入れることができる。特に復習を通して学びの定着を図ることで学生生活に活用することができる。				
教科書	特に指定なし				
参考書	特に指定なし				
外部教材	特に指定なし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	学生生活で生じる問題に対し法的思考をもって対処することができる。		HSU (1) (2) (3) (5) NS (1) (4) (5)		
②	社会人としての基礎的な知識を身に付けることができる。		HSU (1) (2) (3) NS (1) (5)		
③	人権を尊重し他者を思いやる人間性を身に付けることができる。		HSU (1) (2) (3) (5) NS (1) (4) (5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等		授業方法	学習課題・学習時間 (時間)	
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価方法・学習方法の説明) : 大学生の法的位置づけと 18 歳の権利について学習する。		講義	小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。法的思考を日々の生活で習慣付ける。	4
2	成年と未成年の違い (青年と未成年の定義、未成年の制限、成年年齢引き上げの背景) について学習する。		講義	小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。法的思考を日々の生活で習慣付ける。	4
3	大学生と契約・消費者トラブル (トラブル概要、トラブル事例、法律のポイントと救済方法) について学習する。		講義	小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。法的思考を日々の生活で習慣付ける。	4
4	大学生と賃貸トラブル (賃貸契約とは、一人暮らしの注意点、トラブル事例とその対処法、契約時の注意点) について学習する。		講義	小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。法的思考を日々の生活で習慣付ける。	4
5	大学生とバイトトラブル (トラブル概要、トラブルの発生要因、トラブル事例とその対処法) について学習する。		講義	小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。法的思考を日々の生活で習慣付ける。	4
6	大学生と SNS トラブル (トラブルの発生要因、トラブルに伴う法的責任、トラブル発生時の基本対応) について学習する。		講義	小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。法的思考を日々の生活で習慣付ける。	4
7	大学生と友人・恋人トラブル (トラブル発生要因、トラブル事例、トラブル発生時の基本対応) について学習する。		講義	小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。法的思考を日々の生活で習慣付ける。	4
8	大学生_不当な契約からの対処法 (不当な契約とは、トラブル発生時の対処法と予防策、主な相談先) について学習する。		講義	小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。法的思考を日々の生活で習慣付ける。	4
9	大学生_罪と罰 (犯罪の成立要件、犯罪事例と予防策、罰の種類、少年法との関係、罪刑法定主義) について学習する。		講義	小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。法的思考を日々の生活で習慣付ける。	4
10	大学生と社会保険制度 (公的医療保険、公的医療保険の 3 本柱、健康保険、国民年金、バイトと社会保険、奨学金と社会保障との関係) について学習する。		講義	小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。法的思考を日々の生活で習慣付ける。	4

11	大学生と年金制度（年金制度の仕組み、学生の年金加入義務と納付特例制度、バイトと厚生年金加入）について学習する。	講義	小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。法的思考を日々の生活で習慣付ける。	4			
12	大学生と税金・社会保険料（大学生と税金・社会保険料・健康保険・年金保険料）について学習する。	講義	小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。法的思考を日々の生活で習慣付ける。	4			
13	大学生と就活トラブル（内定に関するトラブル、就活ハラスメント、インターン・バイトでのブラック実習、内定後の契約・誓約書トラブル）について学習する。	講義	小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。法的思考を日々の生活で習慣付ける。	4			
14	大学生と交通事故の法的責任（大学生と交通事故、トラブル事例、法的責任の種類、適用保険とその対応）について学習する。	講義	小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。法的思考を日々の生活で習慣付ける。	4			
15	大学生と大学との法的関係（学生と大学との法的関係、学生の権利、大学の権利義務）について学習する。	講義	小テストの振り返りと講義内容の復習に取り組む。法的思考を日々の生活で習慣付ける。	4			
試	定期試験を課す。 達成度評価および評価のポイント参照。						
達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	35	0	0	0	0	35
	思考・推論・創造する力	35	0	0	0	0	35
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	20	0	0	0	0	20
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験では短答式問題と記述式問題を課す。また、講義内の小テストも評価の対象とする。定期試験と小テストの内容を総合的に評価する。				チャットを通して個別にフィードバックする。
	②	✓					
	③	✓					
レポート	①						
	②						
	③						
成果発表	①						
	②						
	③						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
その他	①						
	②						
	③						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教 員 の 実 務 経 験	なし						
実践的授業の内容	学生の日々の生活の中で生じる様々な問題について法的見地からその対処法を学ぶ。必要に応じ視聴覚機材を使用し講義を進める。						
そ の 他	人権と法を学ぶことで学生にとって必要な法的知識と技法を身に付けることができる。学生生活や社会生活で法的思考や感覚を身に付けることは今後の人生の指針となる。本講義は対面式授業のため、大学が示した感染症対策の指針を遵守すること。また、感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動を取った場合は受講を認めないことがある。なお、今後の社会情勢によってはシラバスの変更が行われることがある。						